

特集

高齢者栄養

在宅・地域栄養サポートへの第二歩

栄養は、病態、免疫、全身状態、ADLやQOLなど、さまざまに影響します。単に生命の維持に不可欠だけでなく、

「食べる喜び」は「生きる力」を引き出すものです。

しかし、在宅・地域での栄養状態へのアプローチは、そう簡単ではありません。食事のあり方や形態は利用者さんによってさまざま。

使える物品・栄養剤なども限られています。

栄養状態を測る検査も、直ちにはできません。

なかでも高齢者の栄養管理は難しい。

摂食・嚥下障害や食欲不振による低栄養状態や、特定の栄養素不足、知らず知らずのうちに、るい瘦に陥っている例も。

また経管栄養では、適時見直しを行わずに、

漫然と同じ処方を続けたことによる過栄養のおそれもあります。

在宅・地域で、生きることの根源にある栄養状態に

よりよくアプローチするために、まずできることは？

